
2023 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの:

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 2023 年度 事業概要 SUMMARY | 2 |
| 2023 年度 活動報告 ACTIVITY REPORT | 3 |
| 2023 年度 決算報告 FINANCIAL REPORT | 14 |

はじめに

皆様のご支援のもと、2023 年度の事業を無事終了することができましたので、ここに報告させていただきます。

まず、小中学生を対象とした「ジュニアリーダーズクラブ for Social Action」(JLC)と「Kyoto アントレプレナーチャレンジ」(KEC)では、子供達が素晴らしい成果を出してくれました。JLC では、2 年かけて取り組んで来たカードゲームの試作品が完成し、助成団体の招待で参加した東京での発表会では、大人の方々の採択事業に引けを取らないものを披露し、高い評価を得ておりました。ハロウィンのコスチュームを着ての清掃活動も盛況で、親子で楽しんでもらえる良いイベントとして定着しつつあります。KEC では、採択された6つの事業のメンバーが、プロジェクトを進めていく中で、必要な経費を捻出する方法を考え、参加費や商品販売で収入を得たり、企業に協賛してもらったりと採算を合わせる工夫をし、失敗を乗り越えながら提案アイデアを実現することができました。3 月 17 日の発表会では、事業を通じて自分達でもやればできるという自信とアントレプレナーシップを培ったと述べており、彼らの活躍や変容に、参画した大人達も大いに学ぶところがあったようです。

次に、2004 年から続けております高校生の国際競技は、昨年 5 月の世界大会 Global Youth Entrepreneurship Challenge (GYEC)では、21 カ国から 83 チーム参加し、1 次選考を経て 46 チームが決勝に進みました。優勝はカナダのチームでしたが、日本の広尾学園高校のチームが準優勝を勝ち取りました。今年の国内予選 Global Enterprise Challenge (GEC)には、51校69 チームの高校生がエントリーし、広尾学園高校、ぐんま国際アカデミー中高等部、大阪府立咲くやこの花高校の 3 チームが他国の 54 チームとともに 5 月の世界大会に臨む予定です。

第 23 回目を迎えた起業教育の実践見本市「ユースエンタプライズ トレードフェア」は、コロナ対策に憂慮せず開催することができ、久しぶりに出展者が伸び伸びと交流できるイベントとなりました。

2023 年度は、アントレプレナーシップ元年と言われるほど、国を挙げてアントレプレナーシップを推進する体制がとられており、スタートアップ支援だけでなく学校教育での実践にも注目が集まっています。そんな中、指導者不足は顕著で、当センターでは、教員向けの研修やオンライン講座にも力をいれており、特に小中高で効果ある指導ができる方を養成していきたいと考えております。

皆さまには、引き続きアントレプレナーシップ溢れる若者の応援団として、ご支援・ご指導賜われますよう何卒よろしくお願いいたします。

令和 6 年 5 月末日

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

2023 年度 事業概要

Summary

| 事業内容 | 対象等 |
|--|--|
| 1.能力開発のための研修・講義・講座の提供 | |
| 【ジュニアリーダーズクラブ for Social Action】 身近な社会問題について考え、自分達が出来ることを提案して主体的に実践するなかでソーシャルリーダーとしての資質を育成する講座。今年も昨年に引き続き、活動を評価され、ボランティアスピリットアワードでコミュニティ賞を頂きました。 | 対象:小学5年~中学生 日時:毎月第1,3土曜日 午前9:30-11:30 場所:寺町商店街(京都パレット町家ヒノコ2F) |
| 助成:独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」 公益財団法人みらい RITA(SDGs を学ぶカード開発) | 参加者:子供延べ約300人、大人約100人 |
| 【Kyotoアントレプレナーチャレンジ】 小・中学生対象の事業アイデアコンテスト。採択事業には、その実現に向けて助言や経費的な支援をし、最後に優秀な取り組みを表彰するもの。今年も、6つの事業提案を採択し、7月末~3月初旬の間に、全てのチームが提案事業を実現しました。 | 対象:京都府内の全小・中学生 参加者:応募37チーム 約200人/採択6事業への参加者約500人 |
| 補助:京都府「起業するなら京都・プロジェクト」起業体験推進補助事業 | |
| 2.普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営 | |
| 【 Global Enterprise Challenge (GEC)/Global Youth Entrepreneurship Challenge (GYEC)】 高校生対象の12時間のオンラインでのビジネスアイデアの国際競技。国内予選又は世界大会の1次予選を勝ち抜いたチームが決勝に進出できる。 | 対象:高校生 日時:世界大会5/27, 国内予選3/24 参加者:世界大会:21カ 国から84チーム(500 人),国内予選:51校69 チーム(424人) |
| 協賛:有限責任あずさ監査法人京都事務所、京都外国語大学、株式会社島津製作所、株式会社GSユアサ、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金、ニチコン株式会社、日東薬品工業ホールディングス株式会社、日本ニューロン株式会社、株式会社フューチャースピリッツ、株式会社堀場製作所 協力:京都技術士会 | |
| 【ユースエンタプライズ トレードフェア】 地域と連携した起業教育の実践活動を行う小学生~大学生が一堂に会して出展・交流する成果発表会。優秀な取り組みを表彰。今年も京都大学での開催。 | 対象:小学生~大学生 日時:11/26(日) 場所:京都大学百周年時 計台記念館 参加者:約300名 |
| 協賛:株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社SCREENホールディングス、株式会社井筒ハツ橋本舗、株式会社つなぐ制作所、株式会社土井志ば漬本舗、オムロンヘルスケア株式会社、よーじやグループ | |
| 3.実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援 | |
| 【Youth Enterprise】 小学生~大学生の起業家教育の活動を発信・交流できるオンラインの教育プログラムの提供。 | 対象:小学生~大学生 参加者:30プロジェクト |
| 【アントレプレナーシップ教育の指導者研修】 アントレプレナーシップを推進したい教育指導者の育成講座。 | 対象:大人 参加者:約50人 オンライン&対面 |
| 4.事業理解を進めるための調査・研究・情報発信 | |
| HPや月一回のメールマガジン、SNS等によるセンター活動の報告・案内を行った。 | 随時、メールマガジンは 毎月25日発行 |
| 5.その他 この法人の目的を達成するために必要な事業 | |
| 委員や講演等。行政や地元の経済団体・大学等の人達に当センターの活動を知ってもらう機会となっている。 | 随時 |

2023 年度 活動報告

Activity Report

1. 能力開発のための研修・講義・講座の提供

➤ ジュニアリーダースクラブ for Social Action @寺町商店街

参加者:小学生5年~中学生 約10~12人

活動日:第1・第3土曜日 9:30-11:30 活動場所:京都ペレット町家ヒノコ 2階

主催:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

助成:独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」&公益財団法人みらい RITA

後援:京都市教育委員会

本事業では、子供達が身近な社会問題について考え、その解決に貢献できる事業を提案し、実際に取り組むことで、リーダーとしての資質を伸ばすことを目的としています。

2023年度は、昨年度から取り組んでいる2種類のカードゲームの試作品が完成しました。「Change School」と「Break Borders」というゲームで、前者は子供達にとって身近な学校が、

後者はホオズキ島という架空の島が舞台になっています。ともに、それぞれの関係者が立場を超えて問題解決のために自分達の強みを活かして一緒に取り組むことで、価値観や意見の相違を乗り越えて互いを尊重して協力する力をつけることを意図した小中学生向けのゲームです。助成いただいたみらい RITA の発表会で10月末に他の団体と一緒に披露し、その後も、子供達の集まりでいろんな方にプレイしてもらっています。



次に、昨年度実施して好評だった「ハロウィンチャレンジ~ゴミ拾い名人は誰だ!？」を継続開催しました。ハロウィンにちなんで仮装して、京都市役所から半径1キロの範囲のゴミを楽しみながら拾ってもらうイベントです。親子で参加する



人が多く、仮装したスタッフに出会うともらえるポイントカードやゴミをたくさん拾った人に、寺町の店舗に協賛してもらったお菓子を賞品として出すなど、子供達らしい工夫をしていました。このイベントに参加したことで、「ゴミを捨てないでおこうと思った」と回答した人が殆どで、良い啓発活動になっています。



そして、3つ目のプロジェクトとして、クリアファイルの表に京都の現在の通りを印刷し、ファイルに平安・室町・江戸・明治・昭和の5つの時代の当時の街並みを入れて、京都の変遷が見られる『重ねる地図』を試作しました。そして、これを使って楽しく寺町界隈のお店や歴史的な場所を巡る「重ねてびっくり! 京都ツアー」を2度開催し、参加したお客さんに楽しんでもらうとともに貴重な助言を頂きました。



▶ 小・中学生の起業アイデアコンテスト「Kyoto アントレプレナーチャレンジ」

令和 5 年度京都府「起業するなら京都・プロジェクト」起業体験推進補助事業

対 象 者: 京都府内の小・中学生

活 動 日: 5 月初めから募集開始し、7/23 日に審査結果を発表、その後 2 月迄にアイデアの実現
3/17(日)に京都経済センターの KOIN(オープンイノベーションカフェ)にて事業報告会

主 催: 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

後 援: 京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会

本事業は、未来を創る当事者である小・中学生に、自分達にとって身近な問題に目を向け、その解決に貢献できるアイデアや京都の豊かな資源を活用した新しいアイデアを募り、その実現を応援することで、より良い京都を創っていく担い手として必要なアントレプレナーシップを培ってもらうことを目的としたものです。

2023 年度は、5 月初めから公募を始め、37(201 名)の応募があり、1 次書類選考にて選ばれた 9 つの事業が 2 次の面接に進み、最終的に 6 つのアイデアが採択されました。採択された事業を提案した子ども達は、8 月 6 日の一斉研修に参加した後、3 月の事業報告会まで、月 2 回オンライン会議にて、事業の実施に必要な助言を受けながら、互いの進捗状況から学び合う機会を持ちました。

最終的に、6 つのプロジェクト全てが事業を完了し、3 月 17 日には、京都経済センターの KOIN にて成果発表を行いました。そして、知事賞は、障害者の体験会を開催した京都市立葵小学校 5 年生の『助け合い増し増しプロジェクト』が受賞し、アントレプレナー大賞はミミズコンポストを中学校や児童館に設置して環境活動を行った京都市立御池中学校 1 年生の『ミミズで GO!』に授与されました。

<採択事業>

『助け合い増し増しプロジェクト』(京都市立葵小学校 5 年生 4 人) <知事賞受賞>



障害者が暮らしやすい社会をつくるために、当事者の気持ちを理解し、助け合える意識を持つ人を増やすことを目的に、当事者の方の話の聞いたり、障害について紹介したポスターを作成して掲示したり、視覚・聴覚の障害や車いすに乗る体験ができる会を開催。その実現のために、同じクラスの人にサポーターで参加してくれるボランティア募ったり、学校の体育館を借りたり、社会福祉協議会から機材を貸し出してもらったり、講師の謝金代を地域の企業に協賛してもらったり、ポスターを近隣の学校でもはってもらったり、「困ったら気軽に声をかけてね」という人が持つ缶バッチやキーホルダーを作成して販売したり、積極的に行動しました。体験会終了後も、ユニバーサルマナー検定 2 級に合格するなど、障害について理解を深め、また、この活動が次年度以降も続くように、後輩の生徒達に引き継ぎをして終えていることなどが高く評価されて、知事賞の受賞となりました。



『ミミズで GO!』(京都市立御池中学校 1 年生 1 人) <アントレプレナー大賞受賞>



生ごみの削減と、食の循環を身近に感じてもらうことを目的に、手作りのミミズコンポストを中学校や児童館に設置し、食べ残しや廃棄野菜を堆肥にし、その仕組みについて小学生に紹介するワークショップを開催。地域を巻き込んだ取り組みが高く評価されました。

『大根 SDGs』(京都市立朱雀第三小学校 5 年生58人)



学校の農園で大根を育て、その大根を使った新しい調理メニューを考えて、試作し、保護者や地域の人への販売会を 2 回開催。また、地産地消や環境に配慮した買い物の大切さについて、保護者会で、演劇を交えながら発表しました。本当は、大根のうまい棒を作りたいくて、「株式会社やおきん」にも交渉しましたが断られ、自分達が考えて大根餅やハッシュド大根を近隣にあるレストランでメニュー化してもらえるように頼みにも行きましたが成功しませんでした。社会の厳しさも知る、良い学習になったとのこと。

『重ねる地図』(ジュニアリーダーズクラブ 11 人)



クリアファイルの表に現代の京都の地図の通りを印刷し、平安・室町・江戸・明治・昭和の 5 つの時代の当時の街並みを入れて、京都の変遷が見られる『重ねる地図』を試作し、それを使ったツアーを 2 回寺町通で開催。地図の作成も大変でしたが、ツアーのチラシを作成し、集客を行い、寺町通で案内する場所を紹介する資料を作成したり、ガイドの練習をしたりと、大変な作業が続きました。が、参加者の方に、京都の歴史を知るだけでなく、見逃していた場所へ足を運ぶきっかけになったと、高い評価を得ていました。

『京都の伝統工芸を世界へ！』(同志社国際中学校 2 年生7人)

京都の伝統工芸の素晴らしさを知ってもらう為に、京都に観光で訪れている外国の人達に実際に伝統工芸づくりを体験してもらいたいと、水引のワークショップを企画。宇多野ユースホステルの協力を得て、団体宿泊客の方を対象にワークショップを英語で開催しました。帰国子女の同級生のサポートも得て、水引であわじ結びや梅結びに挑戦してもらい、それをイヤリングやポチ袋などに仕上げました。イタリアから来た学生さんや彼らと同行した日本の大学生にも大変喜んでもらえる体験会となりました。



『京都 指の旅』(京都市立旭丘中学校 3 年 2 人)



指で旅する動画を作成して、京都のいろんな場所を観光客に知ってもらいたいと応募。指に着せる服装を考え、歩き方を工夫し、学校から近い場所で紹介する場所を如何に決めるか考え、紹介したい場所の背景を見せながらも指が旅している様子を出すために、苦戦しながら撮影・編集し、5 つの動画を完成させました。動画編集に思ったより高度な技術が必要でしたが、大学生のサポーターや仲間の協力もあって、受験で忙しいなか、何とかやり遂げました。



2. 普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営

▶ 世界大会 Global Youth Entrepreneurship Challenge 2023

対 象 者:世界各国の高校生

活 動 日:2023 年 5 月 27 日 8:00-20:00

主 催:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

協 賛:有限責任あずさ監査法人京都事務所、京都外国語大学、株式会社島津製作所、株式会社ジンジブ、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金、ニチコン株式会社、日東薬品工業ホールディングス株式会社、日本ニューロン株式会社、株式会社フューチャースピリッツ、株式会社堀場製作所

協 力:京都技術士会

本競技は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、15～19 歳の高校生を対象に実施する 12 時間の国際競技です。

2023 年の世界大会の 1 次予選には、21 か国から 84 チーム 500 名が応募し、1 次選考を経て 47 チーム 263 名が最終戦に進みました。結果、カナダの混成チーム、Alpha チームが優勝しました。

<課題(challenge)>

レベル5の自動運転が実現した時の革新的な事業アイデアを提案せよ！

■参加チーム:21 カ国から 83 チーム参加し、1 次選考を経て 46 チームが最終戦に進みました

■入賞チーム

●1 位(最優秀賞)『MEDEVAC』Alpha チーム(混成チーム※、カナダ)

※St.George's School, Sir Winston Churchill Secondary School, New Westminster Secondary School, Richmond Christian School, Port Moody Secondary, Little Flower Academy, University Hill Secondary School

●2 位(優秀賞)『Cynapse』EBITEN SAMURAI チーム(広尾学園高等学校、日本)



Alpha チーム



EBITEN SAMURAI チーム



➤ 国内予選 Global Enterprise Challenge 2024

対 象 者:日本国内の高校生

活 動 日:2024 年 3 月 24 日 8:00-20:00

主 催:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

協 賛:有限責任あずさ監査法人京都事務所、京都外国語大学、株式会社島津製作所、株式会社GSユアサ、公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金、ニチコン株式会社、日東薬品工業ホールディングス株式会社、日本ニューロン株式会社、株式会社フューチャースピリッツ、株式会社堀場製作所

協 力:京都技術士会

後 援:経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会、国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

今年は、全国 51 校から 69 チームがエントリーし 424 人の高校生が参加しました。そして、3 月 10 日の事前学習会での模擬練習を経て、3 月 24 日の国内予選にてトップ 3 位のチームが選ばれ、5 月 25 日の世界大会に出場予定です。

<課題(challenge)>

製品や企業の環境や SDGs の取り組みを客観的に評価し、消費者がグリーンウォッシングや SDGs を識別し、信頼できる製品を選択できるよう正確な情報を提供する革新的な事業アイデアを提案せよ！

■参加チーム:69チーム (424 人)

■入賞チーム(日本代表チーム)

- 1 位 - Epsilon チーム (広尾学園高等学校 2 年)
- 2 位 - Henceforth チーム(ぐんま国際アカデミー中高等部 1, 2 年)
- 3 位 - Ones & Twos チーム (かえつ有明高等学校 1, 2 年)
- 特別賞 - Naniwa's チーム(大阪府立咲くやこの花高等学校 2 年)



Epsilon チーム (広尾学園高等学校)



Henceforth チーム (ぐんま国際アカデミー中高等部)



Ones & Twos チーム(かえつ有明高等学校)



Naniwa's チーム(大阪府立咲くやこの花高等学校)

➤ 第 23 回 ユースエンタプライズ トレードフェア

対 象 者: 起業教育を実践している小学生～大学生 24 チーム

(小学生 1 チーム、小・中学生 1 チーム、高校生 2 チーム、大学生 20 チーム)

活 動 日: 2023 年 11 月 26 日 10:00-17:00

場 所: 京都大学百周年時計台記念館2F 国際交流ホール

主 催: ユースエンタプライズ トレードフェア実行委員会

(事務局: 特定非営利動法人アントレプレナーシップ開発センター)

協 賛: 株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社 SCREEN ホールディングス

広告協賛: 株式会社井筒八ッ橋本舗、株式会社つなぐ制作所、株式会社土井志ば漬本舗

賞品協賛: 株式会社井筒八ッ橋本舗、オムロンヘルスケア株式会社、よーじやグループ

後 援: 経済産業省、厚生労働省、文部科学省、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、一般社団法人京都中小企業家同友会、一般社団法人京都発明協会、青少年と科学の会、京都府私立中学高等学校連合会、日本キャリア教育学会

第 23 回目を迎えた『ユースエンタプライズ トレードフェア』は、京都大学にて対面で開催いたしました。当日は、全国各地から集まった小学生～大学生で構成される 24 チームが参加し、日頃取り組んでいる起業実践の学習成果を展示販売やプレゼンテーションを通じて発表し、互いの取り組みから学ぶとともに、一般の来場者へ事業紹介したり、試作の商品を販売したりして、第三者から良い助言を得る機会となりました。また、展示・発表後の審査時間中には、学校の枠を超えてチームを組んで商品開発に取り組むミニワークショップにチャレンジし、楽しみながら交流することができました。

出展者の事業内容も、特産品を活用した食品の開発・販売に加え、“エシカルなおしゃれ”、“国産材の活用”、“脱プラスチック”、“子供の教育支援”など、持続可能な社会づくりに向けた課題に取り組むものが増えていました。そんななか、今年の知事賞は、昨年度の試作品をさらに改良して SDGs の学習カードを完成した小中学生の混合チーム「ジュニアリーダーズクラブ」に授与されました。

トレードフェア終了後の参加者アンケートでは、97%の出展者が学ぶことがある活動とトレードフェアを評価しており(「大変学ぶことがあり役立つ活動だった」(72.9%)または「学ぶことがあり役立つ活動だった」(24.3%)と)、例年どおり本学習機会について高い満足度を示してくれました。また、この起業実践を通して、約 70%の参加者が「他の人と一緒に協力して働く力」が伸びた、「アイデアを形にする力」がついたと回答し、次いで、「新しい事業をつくりだす過程についての理解」(65%)「新しいことにチャレンジする気持ち」(約 60%)が増えたと回答しています。起業についての興味関心についての質問に対しても、殆どの参加者が以前より起業家を尊敬するようになり、参加者の半分以上が起業への積極的な姿勢を養うきっかけになっています。

このように概ね意図した成果を上げることができ、次年度も、同様の機会を設けられるよう尽力していきたいと考えております。



<入賞チームの紹介>

●京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチームへ）

賞品：カタログギフト「京もの愛用券」市松コース 賞品提供：京都府

●ベストショップ賞（一般来場者が選ぶ一番よかったチーム）

賞品：電動歯ブラシ 賞品提供：オムロンヘルスケア株式会社

○受賞者：ジュニアリーダーズクラブ（ジュニアリーダーズクラブ）

-昨年度から開発・改良しているカードゲーム「Break Boarders」を紹介するとともに、時代ごとによって変わってきた京都の様子を見られる『重ねる地図』やそれを使ったツアーの紹介、秋に行った清掃活動『ハロウィンチャレジ』の報告を行いました。



●京都経済同友会賞（地域コミュニティに貢献度の高いチームへ）

賞品：SouSou のタオル・ハンカチ

賞品提供：一般社団法人京都経済同友会

○受賞者：恵美-emi（共愛学園前橋国際大学）

-群馬県前橋市オリジナルブランドである「赤城の恵ブランド」の魅力をより多くの人に知ってもらうことを目的に、認証品×認証品のコラボ商品として、農薬・有機栽培の鶏の卵とブルーベリーを使用したプリンを開発。高い環境意識と、地域貢献度が評価されました。



●京都中小企業家同友会賞(ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチームへ)

賞品:木工パズル

賞品提供:一般社団法人京都中小企業家同友会

○受賞者:木になる(名古屋市立大学)

-国産材の需要を向上させるため、子供をターゲットに、国産材を取り巻く状況について教育を行うプロジェクト。ワークショップやカードゲームを通して、わかりやすくかつ楽しく『木』について考えられるように、ボードゲームを作成したり廃材を用いた物作り体験の機会を提供したりという、活動が評価されました。



●青少年と科学の会賞(ものづくりにおいて新しい発想があったチームへ)

賞品:ワイヤレススピーカーと自撮り用ライト

賞品提供:青少年と科学の会

○受賞者:rikas(名古屋市立大学)

-色々な事情があり学校に通えていない子どもたちに、新しい経験や学びの機会を提供することを目的に、フリースクールへの教育支援として、企業が在庫として抱える商品を寄付してもらい、それを使った学習教材を開発し、子供達と大学生が交流しながら学ぶ活動を実施。新しい形の学習支援が評価されました。



●特別賞

賞品:おめでとう三笠 50 個 賞品提供:株式会社井筒八ッ橋本舗

○受賞者:Deepest (愛知学院大学)

-愛知県の郷土料理”鬼まんじゅう”と愛知学院大学のオリジナルのはちみつを地域企業の協力のもと組み合わせて開発。愛知県産の食材を使用したことや地元企業との連携が評価されました。



●特別賞

賞品:おめでとう三笠 50 個 賞品提供:株式会社井筒八ッ橋本舗

○受賞者:いんどり (共愛学園前橋国際大学)

-子育て世代の親が料理を作るときの負担を軽減し、親子で食を楽しむ時間を作るために、下茹でと味付けが済んでいる状態ですぐに食べられるキャベツの真空パック詰めを開発。包丁を使わず、子供と一緒に料理をできるなど、生活への彩りも考えた発想力を評価されました。



●スチューデント賞(発表者が選ぶ一番よかったチーム)

賞品:よーじやスキンケアセット 賞品提供:よーじやグループ

○受賞者:をかし (共愛学園前橋国際大学)

-夜遅くまで勉強に励む学生を支援することを目的に、大豆や蜂蜜を用い、少量で満腹感が得られ、記憶力や集中力が高まるだけでなく、片手で手軽に食べられる商品を開発。若者をターゲットにした着眼点や、その商品の独創性が評価され、多くの出展者の票を得ることができました。



3. 実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援

➤ Youth Enterprise <http://www.youthenterprise.jp/>

小学生～大学生達が、学年段階を超えて、自分達の起業教育の活動を発信しながら、互いに学びあい、また、彼らの支援者が応援者としてプロジェクトの進捗状況を閲覧し応援できるようになっています。

トレードフェアや Kyoto アントレプレナーチャレンジでは、このサイトでの活動発信が表彰のための事前審査の対象となっています。今後もより多くの活動に使ってもらえたらと考えています。



➤ アントレプレナーシップ教育指導者養成講座



小・中学生を対象にアントレプレナーシップを推進する教育指導者の育成の研修講座をオンラインや対面で行いました。

今年は、スタートアップを支援する京都知恵産業創造の森や広島県教育委員会の委託で、高校生の教員向けの研修を行うなど、大学や高専に加えて高校での実践に文科省や教育委員会も力を入れ始めています。オンラインの受講も、少ない人数ではありますが、全国から応募があり、アントレプレナーシップ教育への興味が高まっているのを感じています。

4. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信

➤ HP、ブログ、Facebook やメールマガジンでの情報発信

HP では、随時活動情報や実践の報告を発信するとともに、毎月 25 日には約 6,000 人にメールマガジンを配信しています。

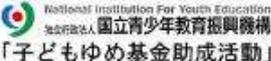
<メディア掲載等>

- ・ 2023.12.18:京都新聞「助け合う社会 大切さ知る 車いす利用者講演 実際に体験も 左京・葵小 児童企画の障害感じる会」
- ・ 2023.11.27:京都新聞「京都大学で起業教育の実践見本市 若者たちの社会課題解決のアイデアとは」
- ・ 2023.10.30:京都新聞「小中生企画「ハロウィンチャレンジ」仮装楽しみ街をきれいに 中京 100 人、ごみ拾い」
- ・ 2023.10.29:17:29 NHK 関西「京都 ハロウィン前に 子どもたちが仮装してごみ拾い」
- ・ 2023.7.1:10:00-10:30 FM79.7 ラジオカフェ_Kyoto Happy NPO 「「生きる力」を育む、起業家教育の現在地」
- ・ 2023.6.8:京都新聞 小中学生の起業アイデア募集！来月 3 日まで 選考や専門化助言も」
- ・ 2023.6.1:月刊先端教育 2023 年 6 月号「特集 2 小中高のアントレプレナーシップ教育～小学校から切れ目のないアントレプレナーシップ育成を～」

活動を支えてくださった方々

Supporter

<助成・協賛団体>

| | |
|---|---|
|  国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

<その他の協賛・協力団体>

株式会社井筒八ツ橋本舗、オムロンヘルスケア株式会社、京都技術士会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、一般社団法人京都中小企業家同友会、青少年と科学の会、株式会社つなぐ制作所、株式会社土井志ば漬本舗、株式会社 Hibana、有限会社森三、よーじやグループ

<会員・賛助会員>

青山 和典、石塚 実、大口 達夫、黒澤 敏朗、酒井 朋久、澤田 有紀、重松 利信、首藤 晴美、鈴木 三朗、高谷 尚志、谷孝 大、角田 隆太郎、中澤 弘、松田 直子、溝畑 剣城、森木 隆浩、横山 強、山本 桂子、里中 康輔、後藤 英之、下村 委津子、田中 絵里加、谷川 玲子、中根 敏雄、西田 喜久夫、野田 幸平、堀田 芳子、松田 稔樹、道越 久悟、森 義晴、山崎 真嗣、山野 勝久

2023年度 決算報告

Financial Report

令和5(2023)年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 | |
|-----------------|-----------|------------|
| I 経常収益 | | |
| 1. 受取会費 | | 222,000 |
| 2. 受取寄附&協賛金 | | 2,522,500 |
| 3. 受取助成金等 | | 3,104,711 |
| 4. 事業収益 | | |
| 教育教材開発・導入支援事業収益 | 830,670 | |
| 普及促進事業収益 | 2,232,530 | |
| 研修・講座事業収益 | 1,452,550 | |
| その他 | 79,840 | 4,595,590 |
| 5. その他収益 | | |
| 受取利益 | 114 | 114 |
| 経常収益計 | | 10,444,915 |
| II 経常費用 | | |
| 1. 事業費 | | |
| (1) 人件費 | 7,557,397 | |
| (2) その他経費 | 2,843,598 | |
| 事業費計 | | 10,400,995 |
| 2. 管理費 | | |
| (1) 人件費 | 615,477 | |
| (2) その他経費 | 715,690 | |
| 管理費計 | | 1,331,167 |
| 経常費用計 | | 11,732,162 |
| 当期経常増減額 | | -1,287,247 |
| III 経常外収益 | | 0 |
| IV 経常外費用 | | 0 |
| 経常外費用計 | | |
| 税引前当期正味財産増減額 | | -1,287,247 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 70,000 |
| 当期正味財産増減額 | | -1,357,247 |
| 前期繰越正味財産額 | | 16,771,468 |
| 次期繰越正味財産額 | | 15,414,221 |

令和 5(2023)年度「特定非営利活動に係る事業」貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | |
|---------------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金 | 18,175 | |
| 普通預金 | 23,693,442 | |
| 前払費用 | 111,480 | |
| 未収入金 | 1,344,711 | |
| 流動資産合計 | | 25,167,808 |
| 2 固定資産 | | |
| 保証金(敷金) | 500,000 | |
| 固定資産合計 | | 500,000 |
| 資産合計 | | 25,667,808 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払金 | 2,632,304 | |
| 前受受益 | 335,000 | |
| 預り金 | 786,283 | |
| 流動負債合計 | | 3,753,587 |
| 2 固定負債 | | |
| 退職給与引当金 | 6,500,000 | |
| 固定負債合計 | | 6,500,000 |
| 負債合計 | | 10,253,587 |
| III 正味財産の部 | | |
| 前期繰越正味財産 | | 16,771,468 |
| 当期正味財産増加額 当期収支差額 | (1,357,247) | (1,357,247) |
| 正味財産合計 | | 15,414,221 |
| 負債及び正味財産合計 | | 25,667,808 |

令和 5(2023)年度「特定非営利活動に係る事業」財産目録

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

| 科 目 ・ 摘 要 | 金 額 | |
|--|------------|------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金 現金手元有高 | 18,175 | |
| 普通預金 京都銀行西五条企業会館支店 | 4,860,991 | |
| 京都中央信用金庫西大路五条支店 | 6,850,653 | |
| ゆうちょ銀行(当座預金) | 11,981,798 | |
| 前払費用 | 111,480 | |
| 未収入金 | 1,344,711 | |
| 流動資産合計 | | 25,167,808 |
| 2 固定資産 | | |
| 保証金(船越メディカルビル事務所保証金) | 500,000 | |
| 京都市中京区両替町通丸太町南入西方寺町160-2 船越メディカルビル 3F | | |
| 固定資産合計 | | 500,000 |
| 資産合計 | | 25,667,808 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払金 | 2,632,304 | |
| 前受受益 | 335,000 | |
| 預り金 | 786,283 | |
| 流動負債合計 | | 3,753,587 |
| 2 固定負債 | | |
| 退職給与引当金 | 6,500,000 | |
| 固定負債合計 | | 6,500,000 |
| 負債合計 | | 10,253,587 |
| 正味財産合計 | | 15,414,221 |